

平成 28 年 6 月 26 日(日)

茨城新聞に医療支援(パラオ)の

記事が掲載されました

専用車で眼科診療へ

水戸のNPO、パラオ支援

パラオ共和国のペリリュ
ー島で、8月に医療支援を
行つたため、眼科専用診察車
「ビジョンバン」が26日、
水戸市から広島県呉市へ向
かう。7月6日には海上自
衛隊呉基地所属の輸送艦
「しもきた」に搭載し、南
太平洋へと出航する。

医療支援活動は、防衛省
と米軍がアジア太平洋地域
で行つた事業で、8月5〜15
日に訪れるパラオ共和国で
は、水戸市の小沢眼科内科
病院(小沢忠彦院長)のN
POが参加する。

ビジョンバンは、長さ9
メートルのバスに、視力・眼圧検

査といった基本的な眼科検
査機器を装備し、高いレベ
ルの検査も行うことができ
る。車両側面には、漫画家
いしいひさいち氏による検
査風景が描かれている。代
表作「がんばれ! タブチ
くん!」や「ののちゃん」
風の、ほのぼのとしたイラ
ストだ。

東日本大震災後に、米国
フロリダ大学から派遣され
活躍した眼科専用診察車を
参考に、宮城県眼科医会が
整備し、4月から日本眼科
医学会が所有している。
一方、今回の医療支援に
向けて、中古の眼鏡の寄贈



パラオに派遣される眼科専用診察車「ビジョンバン」と小沢忠彦院長(左から2人目)ら=水戸市吉沢町

を呼び掛けたところ、私立
茨城高や県立水戸一高、東
北大医学部、常陸大宮市な
どが積極的に協力し、約2
千個の眼鏡が集まったとい
う。これを現地に届ける。
医療支援に同行する視能

訓練士の山口美希さん(26)
は「ビジョンバンには最新
の検査機器が搭載され、ク
オリティーの高い診察がで
きる。頑張りたい」と意欲
を見せていた。

(武藤秀明)